

| | | | | | | | | |
|----|----|------|-----|-------|-----|----|---|--|
| 種別 | 議長 | 事務局長 | 課長級 | 課長補佐級 | 係長級 | 主任 | 係 | |
| 第種 | | | | | | | | |

様式第7号(第6条関係)

平成30年4月12日

美作市議会議長 鈴木悦子 様

会派名 緑政会
 経理責任者氏名 日笠一成

平成29年度政務活動費収支報告書について

美作市議会政務活動費の交付に関する条例(平成18年美作市条例第18号)第7条第1項の規定により、別紙のとおり、平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成29年度政務活動費収支報告書

会派名 緑政会

1 収入

政務活動費 300,000 円

2 支出

| 項目 | 金額 | 備考 |
|-------|---------|----|
| 研究研修費 | | |
| 調査旅費 | 105,056 | |
| 資料作成費 | | |
| 資料購入費 | | |
| 広報費 | | |
| 広聴費 | | |
| 人件費 | | |
| 事務所費 | | |
| その他経費 | 45,360 | |
| 合計 | 150,416 | |

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記入のこと。

3 残金 300,000 - 150,416 = 149,584

円



(様式第14号)

使途項目別集計表

会派 (録政会)

※該当する使途項目に○

研究研修費 調査旅費 広報費 広聴費 その他経費

| 月日 | 内容等 | 金額 (円) |
|---------------|---|---------|
| 平成29年8月21~22日 | 日本体育大学の藤野先生に 伴う調査、研修他滋賀学園 に伴う演習施設視察 | 105,056 |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 平成 年 月 日 | | |
| 合計 | | 105,056 |

(様式第1号)

政務活動記録

会派 (緑政会)

| | |
|--------------|--|
| 活動年月日 | 平成29年8月21日 ~ 平成29年8月23日 |
| 場所 | 網走市役所・日本体育大学付属高等支援学校 北海道ステイカールスポーツ専門学校 |
| 相手方 (対象者) | 網走市(企画総務部長)・日本体育大学付属 [redacted] |
| 活動議員氏名 | 日笠一成 |
| 目的・内容 結果等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 網走市役所: 日本体育大学付属高等支援学校の誘致実現率の流れ、市からの補助・支援について説明を受けた。(対応者: 企画総務部長 岩永雅浩氏) ○ 日本体育大学付属高等支援学校: 平成29年度から開校した学校の概要、目指す教育方針の説明を受け、施設の見学をした。(対応者: [redacted]) ○ 北海道ステイカールスポーツ専門学校: 滋慶学園グループ校である同校のスポーツ学科、柔道整復師学科などの取り組み状況の説明を受けた。(対応者: [redacted]) |

| 上記活動に要した経費 | | |
|------------|--|---------|
| 支出費目 | 内容 | 金額 (円) |
| 交通費 他 | 送迎用バス料金、航空券、レンタカー | 81,170 |
| 保険代 | 旅行傷害保険 | 300 |
| レンタカー油代 | | 566 |
| タクシー代 | | |
| 宿泊費 | ドミトリー 網走 11,150 ^円 アパホテル 11,870 ^円 | 23,020 |
| 合計 | | 105,056 |

添付書類 ※様式第10号 (領収書貼付)

※様式第13号 (他会派と合同で活動し、按分した経費がある場合)

※様式第14号 (使途項目別集計表)

※資料等

No. /

(様式第10号)

領収書用貼付用紙

(記載事項が重ならないよう貼付)

会派 (緑政会)

領 収 証

No. _____

緑政会 様

29年 10月 30日

- ・現金
- ・小切手

| | |
|----|------------|
| 金額 | ¥104,490.- |
|----|------------|

但し 視察研修旅費として
上記の金額正に領収いたしました



内訳 _____
 税抜金額 _____
 消費税額等 (%) _____

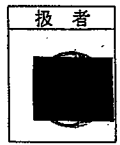
株式会社



香

〒709-4203 岡山
 TEL _____
 FAX _____

82-5
 7430
 7431



No. 2

(様式第10号)

領収書用貼付用紙

(記載事項が重ならないよう貼付)

会派 (経政会)



(有) マルカ櫻原商店
 セルフ女満別空港
 北海道網走郡
 大空町女満別中央260-14
 TEL:0152-74-3545 SS:18043-11665

ENEOS

領収書

2017年08月22日 13:03 伝票No. 2163
 取引通番 3694

530-11665-0000-0006 * 18043
 現金

0120-00 7546
 レギュラーガソリン P08 ¥1438
 数量 11.60L
 単価 @124

合計 ¥1,438
 (内税分消費税 ¥107)
 お預り ¥2,000
 お釣り ¥562

4:0000000-0:0000000 03

処理日付: 2017/08/22 7546-7546
 100取引
 領収書にかえさせていただきます。

納品書(領収書)

2017年08月23日 14:21

売上
 現金フリー 様 M
 6-111111-49997-000
 現金フリー
 実車番 6825
 0026-00
 レギュラー P10 ¥3,091
 数量 24.73L(個) *
 単価 @125
 (内ガソリン税 @53.80 ¥1,330)

合計 ¥3,091
 (内消費税等(8.00%) ¥229)

オリックス自動車
 レンタカーステーション千歳
 北海道 千歳市
 美々758-171
 TEL:0123-22-0543 SS-111111
 ワットNo 0907-17 データNo 9122-9122
 0001ORIX 2017/08/23

キャンペーン期間: 7/21 ☺ ~ 8/31 ☺

10万Ponta ポイントが
 抽選で当たる!

ポイント2倍キャンペーン実施中!!
 <わしくはこちら>



美作市議会 7 会派視察研修報告書

報告者

日笠一成

期 日：平成 29 年 8 月 21 日（月）～23 日（水）

視察場所：北海道網走市役所（北海道網走市南 6 条東 4 丁目）

日本体育大学付属高等支援学校（北海道網走市大曲 1 丁目 6 番 1 号）

北海道メディカル・スポーツ専門学校（北海道恵庭市恵み野北 2 丁目 12-4）

参加会派：清新会（鈴木悦子） 松樹千年翠の会（内海健次） 緑政会（日笠一成）

風の会（尾高誉久） 公明党美作市議団（山本雅彦 和田広宣）

功和会（安藤 功） 英風会（青山 慶）

研修目的：美作市が取り組んでいる「日本体育大学と連携した特別支援学校の整備」並びに、来年 4 月開校の「美作市スポーツ医療看護専門学校」について調査研究するため

【網走市役所】

説明者：網走市企画振興部長 岩永雅浩 氏

○誘致から開校への主な流れ

平成 24 年 10 月 旧北海道高等技術専門学院を候補地として日体大に提案
（理事長、常務による学校施設、スポーツ施設等の視察）

11 月 準備委員会設置
（許認可権を持つ北海道からの情報収集開始）

12 月 日体大理事・評議会で網走市での創設を検討することを決定

平成 25 年 2 月 日体大理事・評議会で網走市での創設計画を決定

4 月 日体大特別支援学校設立準備室開設

12 月 北海道、国からの用地・施設の取得

平成 27 年 3 月 市有財産の無償譲渡

4 月 北海道へ「認可計画書」提出（6 月了承通知受領）

平成 28 年 4 月 北海道へ「認可申請書」提出

7 月 北海道私学審議会による認可後、生徒募集開始

平成 29 年 4 月 開校

○誘致の決め手

- ・東京農業大学オホーツクキャンパス（平成元年開校）の成功事例

定員を超える入学生のある東京農大（在籍者 1700 名）は、市民がささえてきたところが大きく、そのような市民と大学とのかかわりを高く評価された。

- ・充実したスポーツ施設

網走市はスポーツ合宿誘致に 30 年の実績があり、スポーツ施設が充実している。

日体大附属高等支援学校はスポーツを教育課程の柱の一つに掲げており、網走市の充実したスポーツ施設の環境を高く評価された。

- ・充実した医療機関

市内には脳神経外科病院や総合病院のほか、胃腸科、アレルギー科、麻酔科、精神・神経科に対応できる医療施設がある。特に、精神・神経科に対応できる医療環境を高く評価された。

- ・共存社会に対する市民の高い見識

市内には養護学校や精神科の入所施設があり、普段の生活の中でかかわりを持っているが、特別な意識をもって接することはなく、共存社会に対する市民の高い見識を高く評価された。都市部では迷惑施設としてとらえられることもあるが、網走市ではそのような感覚はなく、逆に歓迎されている現実を日体大側は大変喜んでいる。

○誘致から開校までの支援

平成 25 年度

北海道所有の旧北海道高等技術専門学院の敷地並びに建物取得

グランド基準面積確保のため国有地取得

平成 25 年度～26 年度

市有財産移転に伴う代替用地・施設の取得改修関係

平成 28 年度

屋内直線走路建屋整備 1/2 地方創生拠点整備交付金充当)

施設整備事業補助金 ふるさと寄付金充当 機械・備品等購入)

※ソフト分を含めた誘致支援事業費合計

○今後の支援（平成 29 年度予算額）

- ・ 入学支援事業補助 [redacted] …10 ヲ年継続事業
入学決定時に納付する費用の一部を保護者等に給付
- ・ 運営費補助 [redacted] …2 ヲ年事業
私学助成補助金が適用されない 2 ヲ年の経営健全化への支援
- ・ 施設整備事業補助 [redacted]（車両・農機具・部活備品等整備費）
施設整備、教育活動、市民交流活動に関する経費の一部を支援
- ・ 開校記念事業 [redacted]（集団行動演技会他）

※事業費全額ふるさと寄付金を充当している [redacted]

上記支援事業のうち施設整備事業補助については、ふるさと寄付金のうち特に当該支援学校を指定したものを充当している。

※開校までの網走市の支援額は北海道、国から取得した用地、建物並びに市有物件の無償譲渡が主なものであり、上記のとおり [redacted]

[redacted] である。

また、今後の支援についてもふるさと寄付金の使途に反しない範囲での対応となっているため、特に議会並びに市民からの批判は無いとのことである。

○北海道との連携

網走市の私学の支援学校誘致に対し、私学の設置認可等の許認可権限を持つ北海道庁は、道有財産の移譲や設置計画提出前の施設整備事前着工の内諾など全面的にバックアップをした模様である。

○総合戦略での位置付け

東京農業大学や日本体育大学附属高等支援学校と連携しながら、地域の教育力を強化し、豊かな人材を創出するとともに、障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者や高齢者にとって優しいまちづくりと、スポーツ振興による市民の健康増進を目指す。

【日本体育大学附属高等支援学校】

冒頭、[REDACTED]より支援学校の概要説明があり、その後施設見学を行った。

説明者：[REDACTED]

○学校が目指すもの

私学の支援学校として、いかに特色を持たすことができるかが求められている。

教育の3本柱

「スポーツ教育」…体育、部活動を通してたくましい体 健やかな心を育む

「労作教育」…作業学習、就労実習を通して働く事の楽しさ 尊さを培う

「情操教育」…芸術、ダンスなど様々な学習を通して豊かな感性を養う

スポーツ教育で培う健全な心身、労作教育を通して学ぶ働く意義、情操教育で養う豊かな感性、この3つの素養を習得することにより、生徒の個性がいつそう輝き、自立した未来が開けてくるものと考えている。

校舎隣の寄宿舎には市内からの通学者(2人)を除く17人が入寮しており、指導員19人が24時間体制でサポートしている。身の回りの生活は基本的に生徒自らが行うとともに、仲間との絆を築く生活の場としてコミュニケーション能力を養い、社会参加するための基礎を身につける場となっている。

当校として今後取り組んでいかなければならないことは、生徒たちが卒業後にいかに就職し自立することができるかであると考えている。そのため、学校法人日本体育大学の支援のもと全国規模で協力企業を募集し、親元での就職が可能となるよう体制を構築するとともに、日本体育大学への進学も視野に入れた指導を行っていききたい。

また、地域にいかに溶け込むかも重要であり、地域との交流活動も積極的に取り組んでおり、今後さらなる活動に取り組んでまいりたい。

○生徒数

本年度の入学生は40人定員に対し19人と定員割れとなったが、このことはある程度想定内であった。

北海道庁の学校設置認定後(7月)でないと生徒募集ができないため、どうしても周知が遅れてしまい進路先を決定している場合が多い。

しかし、今年のオープンスクール(8月26日)には家族を含め200人の申し込みがあり、来年度入学生は確保できる見通しとなっている。

※美作市が考えている手法(公設公営による日本体育大学との連携)であれば、日本体育大学との協議も当然必要であるが、岡山県教育委員会と綿密な協議を行い早急に協力体制を構築することが必要ではないかとのアドバイスを頂いた。

【北海道メディカル・スポーツ専門学校】

北海道メディカル・スポーツ専門学校は平成25年北海道ハイテクノロジー専門学校から分離独立し、スキージャンプのメダリスト■■■■氏を副校長に招聘し開校した。
運営は滋慶学園グループの学校法人「産業技術学園」
所在地は北海道恵庭市恵み野北2丁目

説明者：■■■■ 氏

○学校の沿革

昭和62年 北海道ハイテクノロジー専門学校設置を北海道知事に申請

昭和63年 北海道ハイテクノロジー専門学校開校

平成15年 北海道エコ・コミュニケーション専門学校独立開校

平成25年 スポーツ学科、柔道整復師学科、鍼灸学科を移管し

「北海道メディカル・スポーツ専門学校」を開校

※「北海道メディカル・スポーツ専門学校」の分離独立は、受験者に学科のイメージを明確に持たすため行ったとのことである。また、柔道整復師については北海道内で飽和状態であり、厳しい状況となっているが、国家試験の高い合格率を維持することで乗り切りたい。ただし、時代の背景等先見の目を持って定員数の変更など柔軟に対応していきたいとのことであった。

○学科

スポーツ学科 定員50名(2年制)

柔道整復師学科 定員60名(3年制)

鍼灸学科(昼間部・夜間部) 定員30名(3年制)

※鍼灸学科夜間部については廃止の予定

2017・8・21～23網走市支援学校、北海道メディカルスポーツ専門学校視察記録



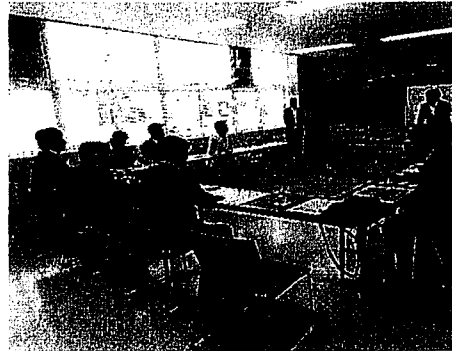
市役所内にて研修



市役所内にて研修中(岩永部長より)



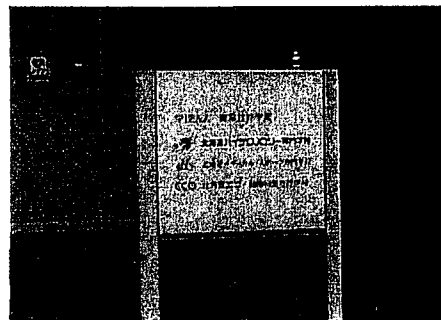
市役所前にて



支援学校での研修



日体大網走支援学校正面



北海道メディカルスポーツ専門学校



同専門学校

網走市議会

議長 工藤英治

事務局 網走市南六条東四丁目
網走市役所内 電話 四四六一番
事務局直通
電話 (0152) 四四一三三六番
FAX (0152) 四四一三三八番



網走市 ABASHIRI HOKKAIDO JAPAN

網走市企画総務部長

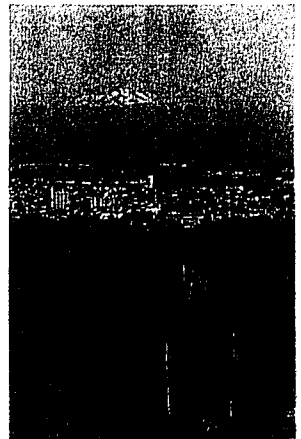
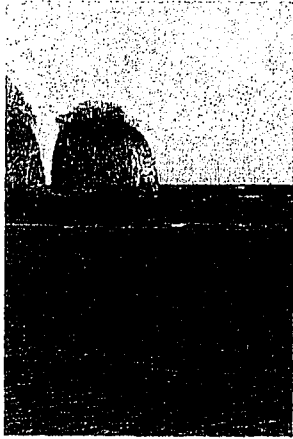
岩永雅浩

〒093-8555 網走市南6条東4丁目
TEL 0152-44-6111
FAX 0152-43-5404

E-mail:
E-mail:



網走・日体大附属高等支援学校、その先へ。



ようこそ網走へ 岡山県美作市議会のみなさま

平成29(2017)年8月21日(月)
網走市企画総務部



網走・日体大附属高等支援学校、その先へ。

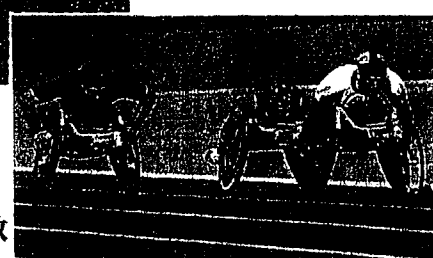


30年前に

種を播いた



花が咲いた
東京農大誘致
スポーツ合宿誘致





Partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！

網走・日体大附属高等支援学校、その先へ

■人口減少問題に向き合うための、網走市の考え方

障がい者スポーツを切り口に、障がいがあっても、年を重ねても、可能な限り働くことができ、住み慣れたまちで暮らし続けることができる、持続可能なまちづくりを進めていく、というのが人口減少問題に向き合うための考え方です。

●種：丁寧で、柔軟な対応

2018平昌オリンピック・パラリンピック⇒【ナショナルトレセン拠点施設】（指定済み）バイアスロン競技
2019ラグビーW杯日本開催⇒【ベースキャンプ地】（今夏申請）JAPAN誘致へ
2020東京オリンピック・パラリンピック⇒【ホストタウン】（一次登録済み）兼州車いす陸上競技誘致へ

●花：「目的」としてのスポーツ合宿から、 市民生活に恩恵をもたらす「手段」としての合宿誘致へ

●果実：物心ともに障壁のない、障がい者に優しいまち

強みをさらに磨く

3

人口減少を克服する

5. 支え合い、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり

4. 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから学び「明日をひらくひと」の育成

3. 若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり

2. 観光や健康・スポーツなど網走の地域特性を生かした交流人口の拡大

1. 若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出

人口減少社会への挑戦

網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略

地域経済の活性化を誘導する

●人口減少を克服する 積極戦略と調整戦略

●地域経済の活性化を誘導する

アウトバウンド市場

インバウンド市場

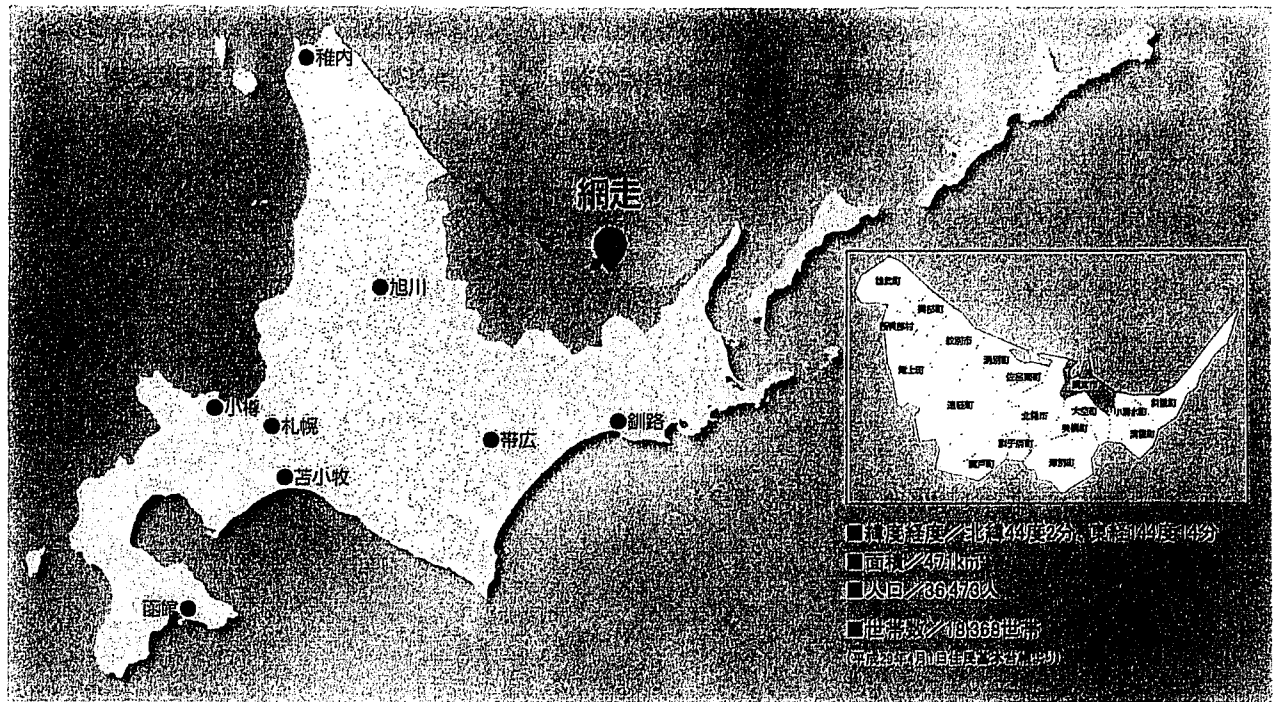
ローカル市場

今年、網走市は.....を迎えます。

4

網走市の概要

Outline



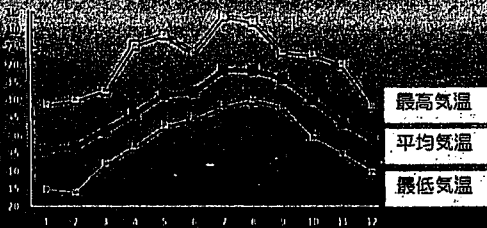
気候(環境)

climatic environment

暮らしやすい あじしりの気候

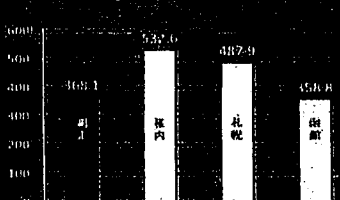
網走は、寒くて雪もたくさん降る厳寒の地？
 北海道の中では雪も少なく冷え込みも穏やか。
 一年を通して晴天が多く、年間降水量・降雪量も
 少ない地域です。
 また、**日照時間が長い**とても過ごしやすい気候の
 まちなのです。

気温(℃)/平成27年

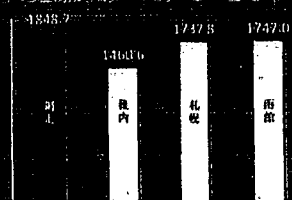


日照時間/平成27年
 年間日照時間が長く
 降雪日も多くない

平均降水量/合計/平成18~25年



平均日照時間/平成18~25年



春

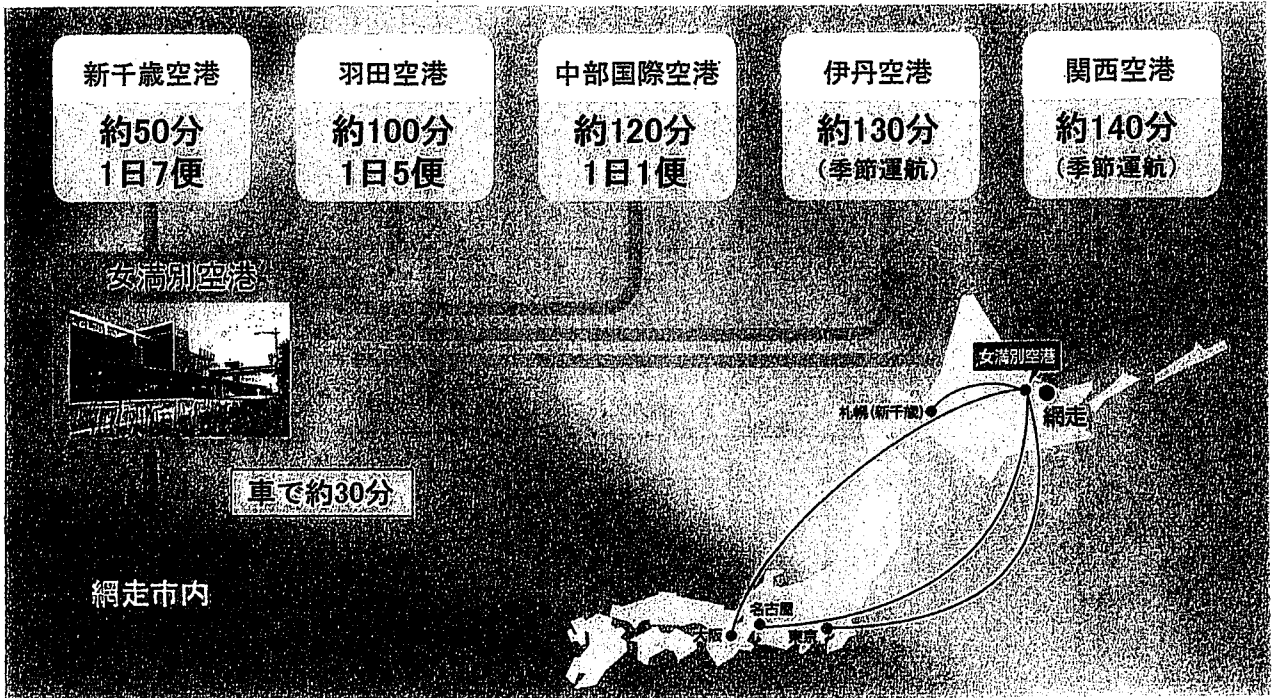
夏

秋

冬

交通アクセスの利便性1

Access



7

水産物(海・湖)

Sea and lake of product

オホーツクの網走の豊かな恵



あばしりお魚カレンダー

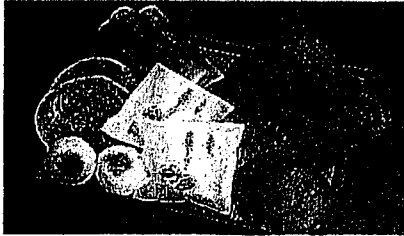
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| スズキ | → | | | | | | | | | | | |
| サケ | | | | | | | | | | | | |
| カラフトマス | | | | | | | | | | | | |
| キツネ(サケ) | → | | | | | | | | | | | |
| ホタテ | | | | | | | | | | | | |
| クラゲ | | | | | | | | | | | | |
| イカ | | | | | | | | | | | | |
| エビ | | | | | | | | | | | | |
| シロイサナ | | | | | | | | | | | | |
| ウニ | | | | | | | | | | | | |
| シロ | | | | | | | | | | | | |
| ワカサギ | → | | | | | | | | | | | |

8

水産加工品

Processed goods

豊かな海の恵みを活かした絶品の数々



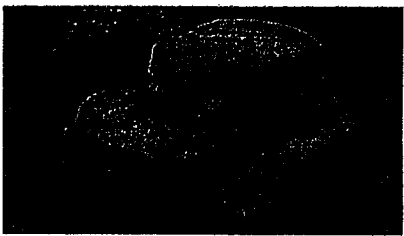
かまぼこ



新巻山漬け



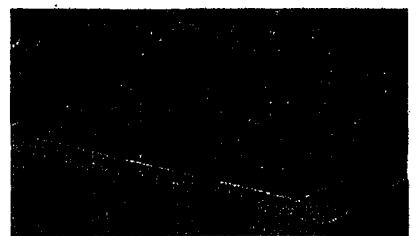
干し製品



ほたて貝柱



かまぼこ

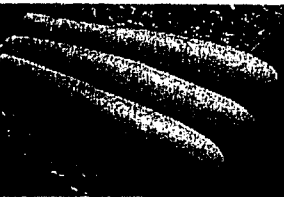
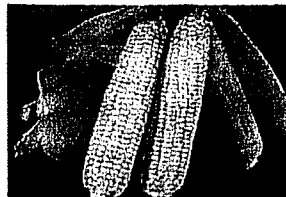
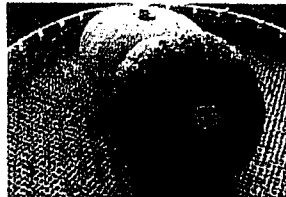
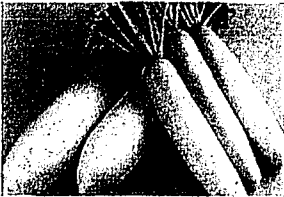


いくら

農畜産物

Agricultural products

恵まれた気象条件のもとで育まれた生産物



野菜カレンダー

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 大根 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● |
| 白菜 | | | | ◎ | ● | ● | ● | ● |
| スイートコーン | | | | ◎ | ● | ● | ● | ● |
| 玉ねぎ | ○ | ○ | | ◎ | ● | ● | ● | ● |
| とうもろこし | ○ | ○ | ○ | ◎ | ● | ● | ● | ● |
| アスパラ | ◎ | ● | ● | ○ | | | | |
| 長ねぎ | ○ | ○ | ○ | | | | ● | |
| さや豆 | | | ◎ | ● | ● | | | |
| なす | | ◎ | ● | ● | | | | |
| ピーマン | | | ◎ | ● | ● | ○ | ○ | |
| ズッキーナ | | | ◎ | ● | ● | | | |
| かぼち | ○ | ○ | | | | | | ◎ |

●旬もの ○少量 (越冬野菜を含む)
◎旬もの始まり ●旬もの減少

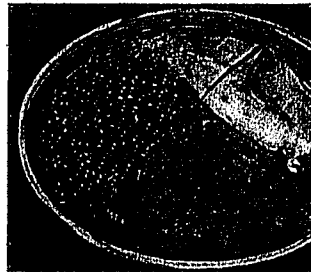
グルメ

Gourmet

おいしいまち あばしり!



網走ちやんぼん



海鮮丼



焼きガニ



釣りきんぎのお造り



オホーツク網走ザンギ丼



オホーツクあばしり和牛のすき焼き



わかさぎの天ぷら



くじらのお刺身

宿泊施設

Training Camp

疲れた体を癒すおもてなし

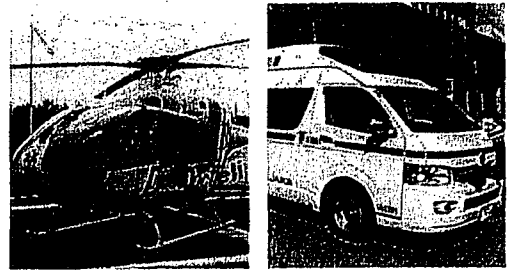
| | ホテル名 | 温泉 | 大浴場 | 食事 | 主な受入競技 | スポーツまで | 陸上競技場まで |
|--------|------------------|----|-----|-----|-----------|--------|---------|
| 網走湖畔地区 | 網走観光ホテル | ● | ● | 3食付 | ラグビー | 車5分 | |
| | 北天の丘 あばしり湖鶴雅リゾート | ● | ● | 3食付 | ラグビー・サッカー | 徒歩1分 | |
| | ホテル 網走湖荘 | ● | ● | 3食付 | ラグビー | 車5分 | |
| | かに本陣 友愛荘 | ● | ● | 3食付 | ラグビー・バスケ | 車10分 | |
| 網走駅前地区 | 網走ロイヤルホテル | | ● | 3食付 | ラグビー・陸上 | 車15分 | 車10分 |
| | ホテル しんぱし | | | 3食付 | ラグビー・陸上 | 車10分 | 車10分 |
| | ホテル サンアバシリ | | | 3食付 | 陸上 | 車10分 | 車10分 |
| | ホテル ルートイン網走 | | | 3食付 | ラグビー・陸上 | 車10分 | 車10分 |
| 市街地地区 | 網走セントラルホテル | | | 3食付 | ラグビー・陸上 | 車5分 | 車5分 |
| | 北海ホテル | | | 3食付 | 野球・陸上 | 車5分 | 車5分 |
| | やすらぎの宿 B&B あばしり | | | 3食付 | ラグビー・陸上 | 徒歩5分 | 徒歩5分 |
| 郊外地区 | かがり屋 | | | 3食付 | 陸上 | | 車20分 |

医療施設の状況

Medical facilities

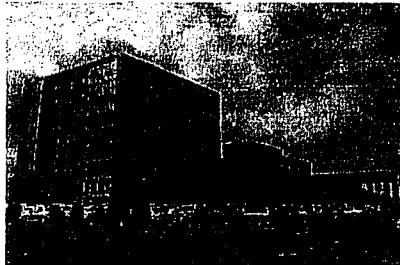
誰もが安心して健やかに暮らすために

市内には脳神経外科病院(脳神経外科・リハビリテーション科)や総合病院(内科・消化器科・呼吸器科・循環器科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科)のほか、胃腸科、アレルギー科、麻酔科、精神・神経科に対応できる医療施設があります。

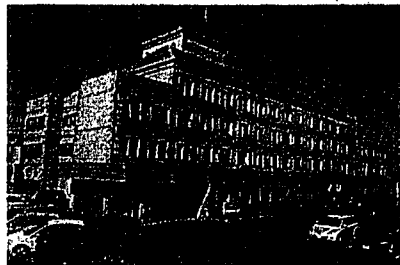


| 区分 | 病院 | 診療所 | 歯科診療所 |
|-----|-----|-----|-------|
| 施設数 | 5 | 13 | 16 |
| 病床数 | 802 | 38 | - |

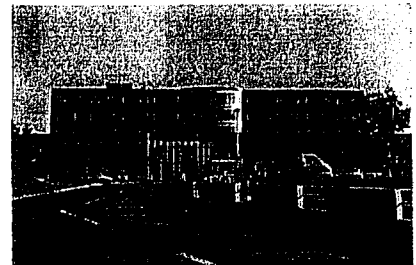
(H26.4.1現在)



JA北海道厚生連網走厚生病院



網走脳神経外科・リハビリテーション病院



こが病院

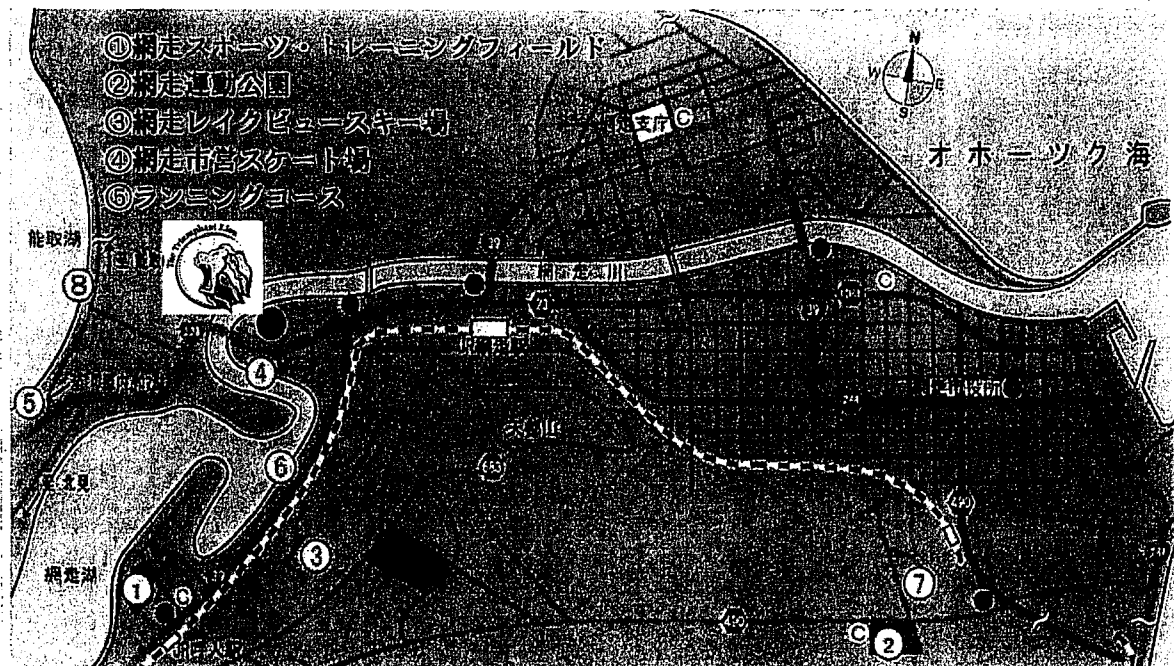
心臓施設

13

スポーツ施設

Sports facilities

「北のスポーツ基地あばしり」



14

スポーツ施設

Sports facilities

「北のスポーツ基地あばしり」

① 網走スポーツ・トレーニングフィールド

① ② ③ ラグビー場、サッカー場

- ・ラグビー場 70m×69m 7面
- ・サッカー場 105m×68m 7面



④ テニスコート

- ・オムニコート 18面 (軟式・硬式併用)
- ・夜間照明 8面



⑪ 投てき練習場

- ・ハンマー投げ、槍投げ
- ・円盤投げ、砲丸投げ



⑤ アーチェリー場

- ・.90m級コート、14的
- (芝生、アスファルト)



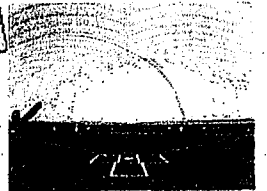
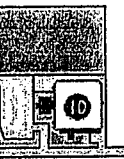
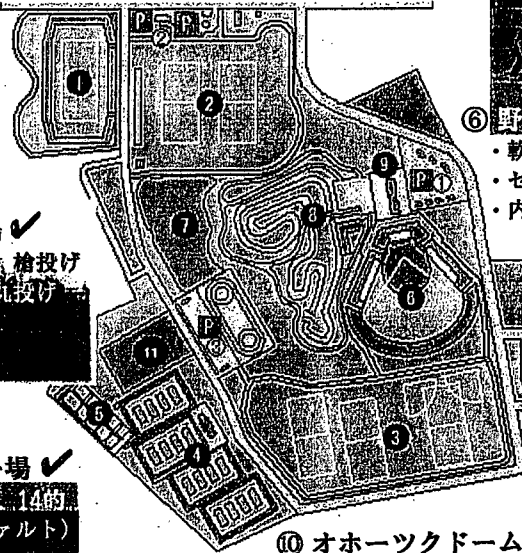
⑩ オホーツクドーム

- ・野球場内野面
- ・テニスコート 2面
- ・フットサルコート 2面
- ・外周にランニング専用コース 1周200m) 15



⑥ 野球場

- ・軟式、硬式併用
- ・センター120m、両翼97m
- ・内野：クレー、外野：芝生



スポーツ施設

Sports facilities

「北のスポーツ基地あばしり」

② 網走市運動公園



総合体育館

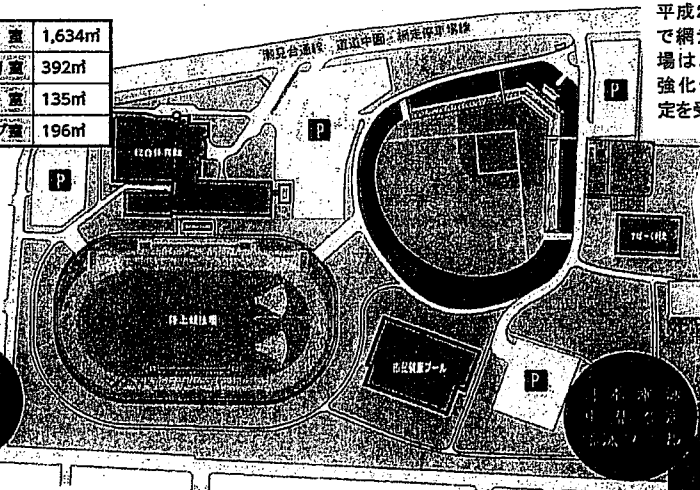
| | |
|---------|--------|
| 第1体育館 | 1,634㎡ |
| 第2・3体育館 | 392㎡ |
| 第4体育館 | 135㎡ |
| トレーニング棟 | 196㎡ |



陸上競技場

日本陸連三種公認コース

| | |
|---------------|------|
| 全天候型舗装(ウレタン系) | 400m |
| メッシュウレタン舗装 | 9コース |
| 曲線バリアウレタン舗装 | 8コース |



平成25年3月21日付で網走市営陸上競技場は、JOC認定競技別強化センターとして認定を受けました。

市民プール

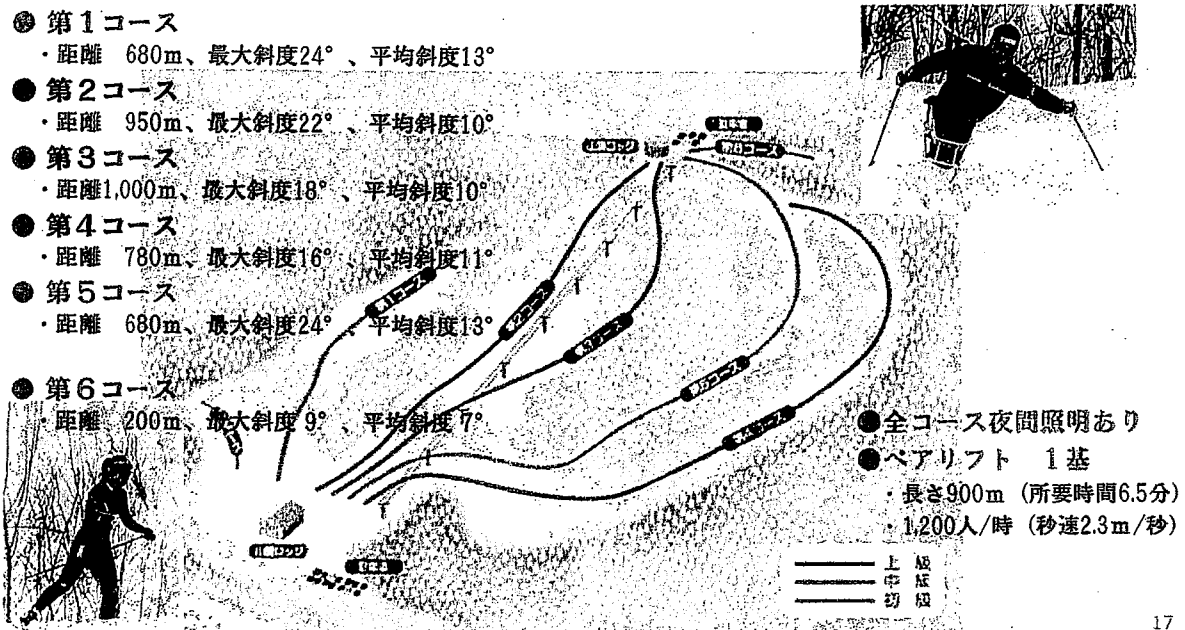


| | |
|-------|--------------|
| 温水プール | 水温27度、室温31度 |
| 一般プール | 25m×15m=375㎡ |
| | 深さ1.4m、7コース |

「北のスポーツ基地あばしり」

③ 網走レイクビュースキー場

- 第1コース
・距離 680m、最大斜度24°、平均斜度13°
- 第2コース
・距離 950m、最大斜度22°、平均斜度10°
- 第3コース
・距離1,000m、最大斜度18°、平均斜度10°
- 第4コース
・距離 780m、最大斜度16°、平均斜度11°
- 第5コース
・距離 680m、最大斜度24°、平均斜度13°
- 第6コース
・距離 200m、最大斜度 9°、平均斜度 7°

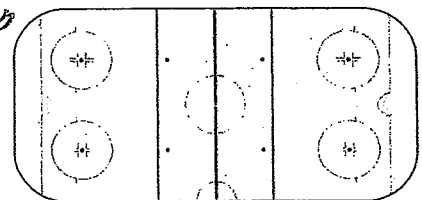


「北のスポーツ基地あばしり」

④ 網走市営スケート場

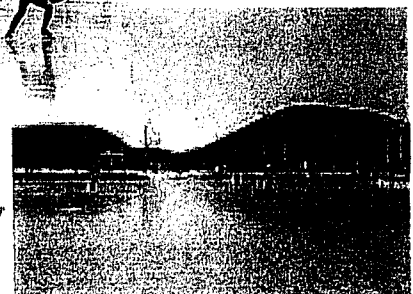
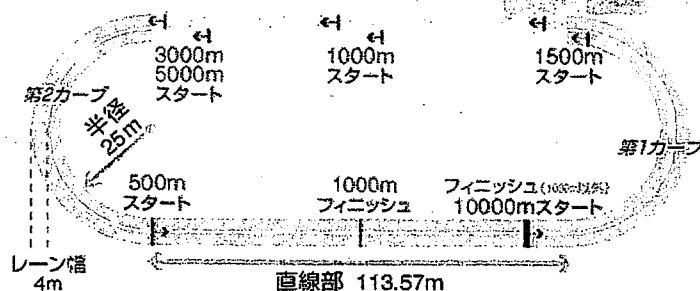
●アイスホッケーリンク

- ・60m×31m
- ・夜間照明あり



●スケートリンク

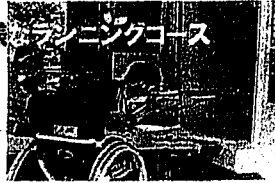
- ・メインリンク 1周400m
- ・サブリンク 50m×36m
- ・夜間照明あり



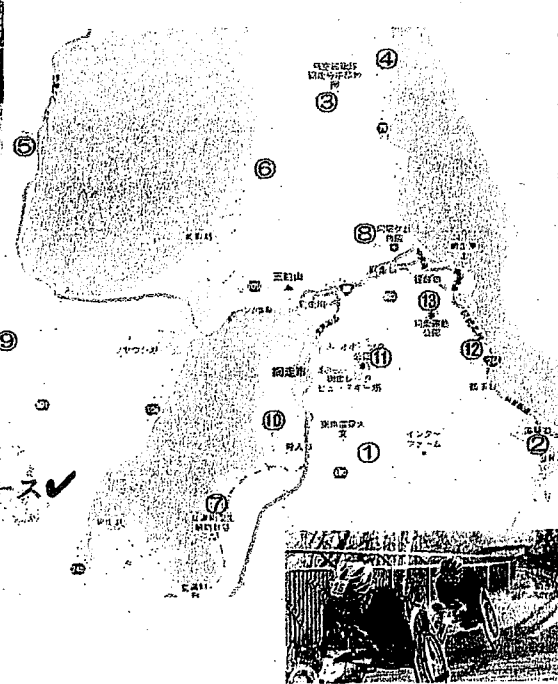
Sports facilities

「北のスポーツ基地あばしり」

⑤多様なランニングコース



- ①オリンピックコース
・21.1km、信号4ヶ所
- ②藻琴湖コース
・10.0km、信号1ヶ所
- ③バイラギ林道コース
・11.6km、信号なし
- ④ニツ岩コース
・10.4km、信号なし
- ⑤サイクリングロードコース✓
・25.2km、信号なし
- ⑥美岬コース
・20.0km、信号1ヶ所
- ⑦アオサギコース
・5.0km、信号なし



⑧向陽周回コース

・1周6.7km、信号なし

⑨卯原内周回コース

・1周7.8km、信号なし

⑩スポトレ周回コース✓

・1周2.0km、信号なし

⑪てんとらんど周回コース✓

・1周2.1km、信号なし

⑫ハーフマラソンコース

・往復21.0975km、信号7ヶ所

⑬市営陸上競技場✓

・全天候型トラック1周400m



ランニングコース

Running course

条件に合わせた多彩なコースをご用意



オリンピックコース【コース距離21.1km・信号機4箇所】

【舗装路】総合体育館横をスタートし、ビート畑や小麦畑に囲まれた斜里岳方面へ延びるコースです。起伏に富み交通量も少ないこのコースでは、ニューイヤー駅伝優勝チームをはじめ、有力な実業団チームがトレーニングに励んでいます。また、オリンピック、世界選手権等の日本代表選手が数多く生まれており、網走の代表的なランニングコースで最も厳しいコースとも呼ばれています。

藻琴湖コース【コース距離10km・信号機1箇所】

【舗装路】釧網線藻琴駅前をスタートし、藻琴湖沿いを東藻琴方面に走るほぼフラットなコースです。交通量はやや多く、スピード練習に適しています。

バイラギ(林道)コース【コース距離11.6km・信号機なし】

【ダート】大自然を満喫できる起伏のあるコースです。ニツ岩と美岬トンネルの間にある林道で、通行車両はほとんどありません。

ニツ岩コース【コース距離10.4km・信号機なし】

【舗装路】ニツ岩から能取岬灯台に向かう景色が良い海沿いのコースです。観光道路でもあるので、交通量はやや多めです。

ランニングコース

Running course

条件に合わせた多彩なコースをご用意



サイクリングロードコース 【コース距離 25.2km・信号機なし】

【舗装路】 1987年3月19日に廃線となった旧湧網線の線路跡を利用しています。道路は一般道とはほぼ完全に区分けされており、安全性が高く網走湖と能取湖を間近にする景色の美しいコースです。

スポトレ周回ロード 【コース距離 1周 2km・信号機なし】

【オールグラス】 ラグビートップリーグ仕様の30mmから40mmにそろえた芝生のコースです。周回距離は自由に設定することができ、簡易舗装路との組み合わせも可能です。

てんとらんど周回コース 【コース距離 1周 2.1km・信号機なし】

【舗装路】 設定次第で距離・斜度の調節が可能です。他に、グラスコースで最大傾斜20度・直線距離150mの傾斜地があり1周約650mのコース設定も可能です。通行車両はなく、トイレ・更衣室を備えたロッジがあります。

合宿実績

Achievement

年間50団体、1,700名の合宿受入実績

①陸上競技

●平成20年北京オリンピック代表直前合宿

| 種目 | 選手名(所属企業) |
|----------------|----------------|
| マラソン | 尾方 剛 (中国電力) |
| | 佐藤敦之 (中国電力) |
| | 大崎信史 (NTT西日本) |
| 5000 m、10000 m | 松宮陸行 (コニカミノルタ) |
| 10000 m | 洗井陽子 (三井住友海上) |



五輪マラソン3大会連続出場2大会連続メダルを獲得したエリック・ワイナイナ(元ケニア代表)選手は、3大会とも1ヶ月近くの間網走で直前合宿を行なったほか、世界陸上をはじめ国際大会の代表選手の合宿地として利用いただいています。

②ラグビー

| | |
|------------------------------|--------------|
| 日本代表 | 平成4～6、13、15年 |
| ジャパンラグビートップリーグ 16チーム中8チーム | 平成25年 |
| 日本ラグビー協会レガシー委員会 | 平成16年度～ |



③ボート

| | |
|----------------|-----------------|
| 五輪世界ボート選手権日本代表 | 昭和63年、平成5・6、22年 |
|----------------|-----------------|



●昭和63年、平成5、6、22年に、五輪・世界ボート選手権日本代表が直前合宿

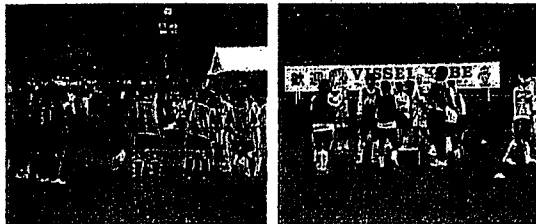
合宿実績

Achievement

年間50団体、1,700名の合宿受入実績

④サッカー<Jリーグチーム>

| | |
|----------------|-------------|
| ジェフユナイテッド市原・千葉 | 平成6・7・8・10年 |
| 川崎フロンターレ | 平成9年 |
| セレッソ大阪 | 平成11・12年 |
| ヴィッセル神戸 | 平成16年 |
| 名古屋グランパスエイト | 平成19年 |



⑤パラリンピック出場を目指すアスリート

| | |
|---------------------------------------|-------|
| バンク・パシフィックパラリンピック バリアスロン日本代表チーム | 平成22年 |
| 日立ソリティアンボニス選手会 | 平成22年 |
| ロンドンパラリンピックの maratons 5位入賞 土田和歌子選手 | 平成23年 |
| ロンドンパラリンピック 陸上競技代表 銅メダリスト 和田伸也選手 | 平成24年 |



その他

- 平成14年FIFAサッカーワールドカップ日韓開催時のベースキャンプ地として組織委員会から公認
- 平成25年3月にJOC強化拠点センターとして陸上競技場が選定
- 平成31年日本で開催されるラグビーワールドカップのベースキャンプ地として申請予定

23

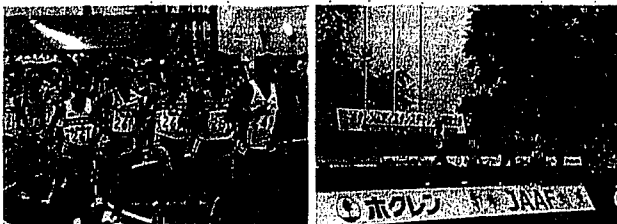
スポーツイベント

Events

トップクラスの選手の活躍を観戦

ホクレン・ディスタンスチャレンジ網走大会

毎年7月上旬、網走市営陸上競技場を会場に日本中長距離のトップクラスの選手が参加して行われます。



網走ラグビーフェスティバル

網走市の夏の風物詩として定着したラグビー合宿中に、トップリーグチーム同士の好カードを観戦することができます。



24

産学官の連携

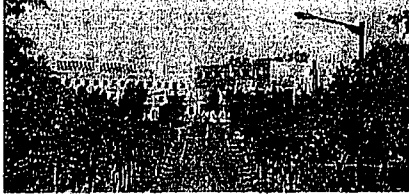
partnership

産学官連携による研究や取組が活発に行われています。

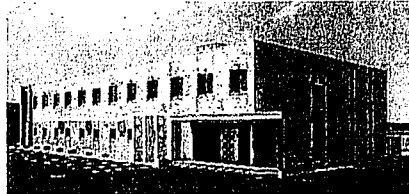
国や北海道の主要機関が設置されるなど、オホーツク圏行政の中心地となっています。

また、東京農業大学生物産業学部(4学科 学生数1,700人)があり、産学官の研究、取組が活発に行なわれています。卒業後は市内に就職する学生も多く、貴重な人材となっています。

【市内および近隣の研究機関】



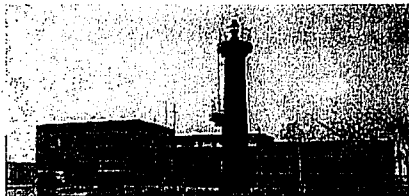
東京農業大学オホーツクキャンパス(生物産業学部)



東京農業大学オホーツク臨海研究センター



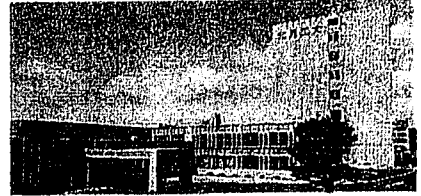
網走水産試験場



網走水産科学センター



オホーツク圏地域食品加工技術センター



北見工業大学

27

産学官連携



挑戦！オホーツクの大地で、獅子吼する！

■誘致から開校へ 日体大特別支援学校設立準備室設置(H25.4)

- H24(2012)年06月 日体大によるスポトレ視察
- 10月 旧北海道高等技術専門学院(H22.3.31閉校)を候補地として提案
理事長、常務による学校施設、スポーツ施設等の視察
- 11月 準備委員会設置
学校設置の許認可権を持つ北海道からの情報収集開始
- 12月 理事・評議員会で、網走市での創設を検討することを決定
- H25(2013)年02月 理事・評議員会で、創設計画を決定
プレス・リリース(3/6日体大にて記者会見：市長同席)
議会への報告：国、北海道からの用地・施設の取得(有償)
日体大への無償譲渡
- 03月 日体大北海道同窓生への現地説明会
- 04月 日体大特別支援学校設立準備室開設【専任職員1名配置】
日体大特別支援学校設立準備室開設【専任職員3名常駐】
- 12月 北海道、国からの用地・施設の取得
- H26(2014)年01月 敷地内市有財産の譲渡契約(改修・増築工事完了9/30)
- H27(2015)年03月 北海道・国からの取得財産+市有財産の無償譲渡

28



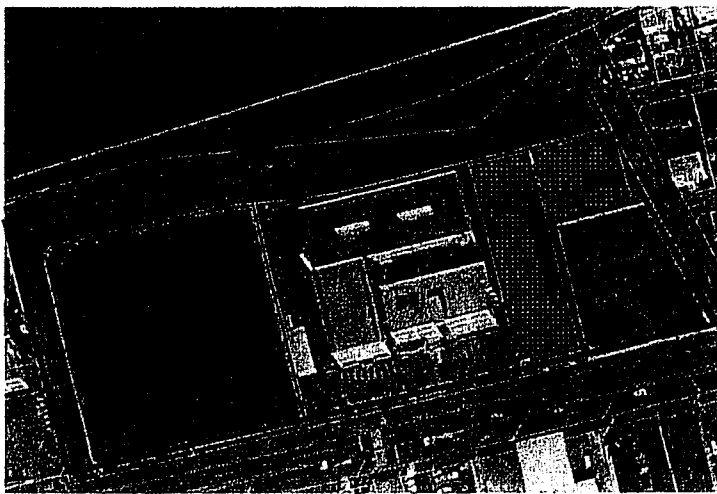
■学校に必要な財産の取得 1。

■北海道有地の取得

- 旧道立高等技術専門学院…平成22年3月31日閉校
- 土地敷地 16,482.98㎡
- 学校施設 3,921.36㎡
- H25(2013)年12月 契約締結

■国有地の取得

- 隣接国有地
- 土地敷地 5,462.97㎡
(グラウンド基準面積確保)
- H25(2013)年10月 契約締結



■学校に必要な財産の取得 2。

■市有財産の移転

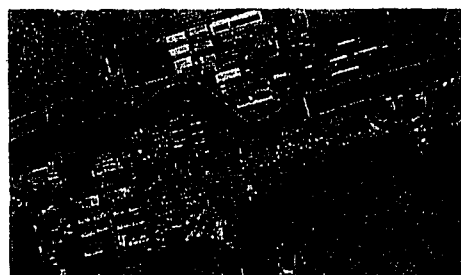
- 敷地内の訓練施設＝網走市能力開発センター移転

■代替用地・施設の取得

- 土地敷地 1,918.50㎡
- 建物 799.86㎡
- H26(2014)年01月 契約締結

■代替施設の改築

- 鉄筋2階建て
- 改修・増築後 929.23㎡
- H26(2014)年09月 改築工事完了





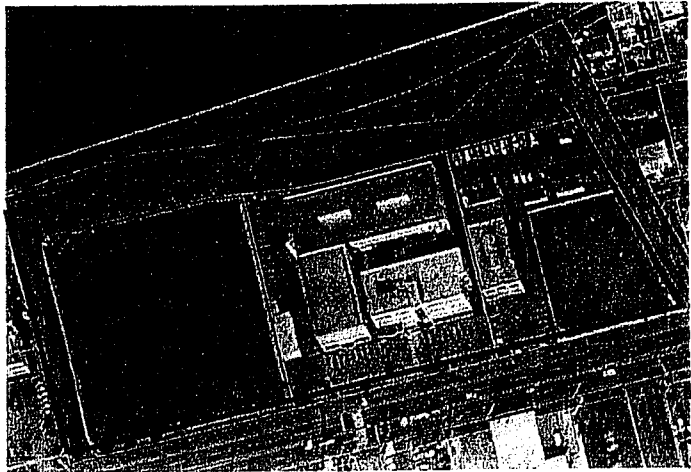
partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！

■用地・施設の無償譲渡。

- 所在地 網走市大曲1丁目73番地-1外
- 交通 女満別空港まで17.8Km (27分)
JR網走駅まで2.4Km (5分)
国道238号線に接する立地
- 閉鎖 旧道立学院…平成22年3月末
旧訓練施設…平成26年9月末

- 土地敷地 25,137㎡
- 学校施設 4,826㎡
 - ・管理棟(3階建)
 - ・実習棟(2階建)
 - ・体育館(1階建)
 - ・訓練施設(2階建)



partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！

■体育・スポーツ振興に関する協定【平成27(2015)年3月21日】

- 学校・施設における教育・研究及び課外活動
 - スポーツ学習・研修機会
 - ・子ども体力づくりサポート事業
 - 学生・生徒の職業体験
- 教職員の交流又は指導員の派遣
 - 人材育成
 - 職員間の交流研修・意見交換会
 - 大会、研究会等の指導員、講師等の派遣
- 学生・生徒の交流
 - 修学旅行での教育プログラム活用
 - インターンシップ等現地学習
- 行事・イベント
 - 健康及びスポーツ振興
 - 地域スポーツ活動に対する指導・協力
- 施設利用
 - 合宿等における施設利用
 - 大会イベント、研究等における施設利用



（左）網走市長 藤田 隆一氏（右）日体大副学長 藤田 隆一氏
（左）網走市長 藤田 隆一氏（右）日体大副学長 藤田 隆一氏
（左）網走市長 藤田 隆一氏（右）日体大副学長 藤田 隆一氏



partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！

■学校設置「認可計画書」「認可申請書」の調製

●H27(2015)年04月 日本体育大学附属高等支援学校設立準備室へ改称【専任職員5名常駐】北海道へ「認可計画書」を提出（北海道総務部法人局学事課）

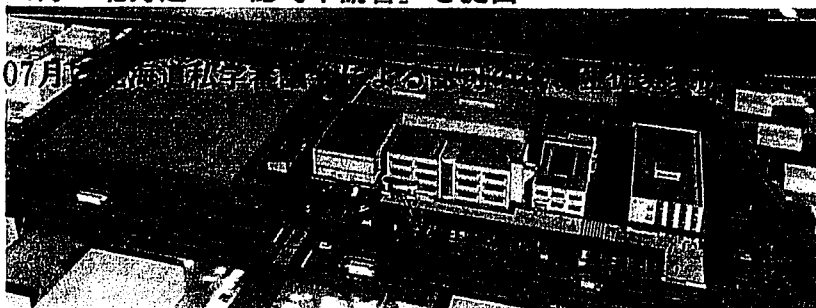
寄宿舍新築工事、既存施設の改修工事に着手（H28.05工事完了）

06月 北海道から「認可計画書」の了承通知を受領

★教職員 40名の確保（最終的には55名程度+α生活指導員）

★生徒 40名の確保

●H28(2016)年04月 北海道へ「認可申請書」を提出

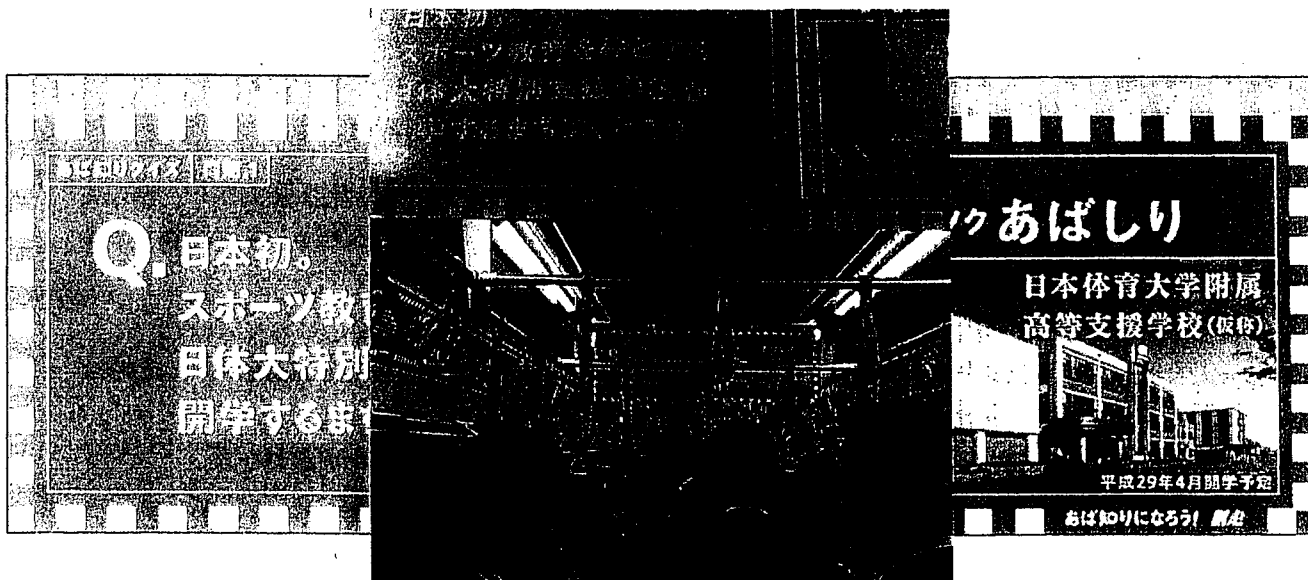


partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！

電車ジャック

10両×2編成(東急田園都市線、東横線)×1ヶ月【平成28(2016)年1月7日～2月1日】





partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！



partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！

まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27(2016)年10月策定

東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから学び「明日をひらくひと」の育成

東京農業大学や日本体育大学附属高等支援学校と連携しながら、地域の教育力を強化し、豊かな人材を創出するとともに、障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者や高齢者にとって優しいまちづくりと、スポーツ振興による市民の健康増進を目指します。

- 学校設立などに関する支援
開設支援、教育実習生の研修受入、特別支援教育体制の強化、職場実習受入事業所への支援など
- 障がい者教育・雇用の支援
技能習得支援、障がい者雇用が可能な事業所の調査・分析、就労指導体制の構築など
- 日本体育大学附属高等支援学校による市民スポーツ活動への支援
学校開設を契機として、地域のスポーツ団体と連携した活動を支援することで、市民のスポーツへの関心・意欲を高め、生涯にわたる「健康増進」を図る。



partnership

挑戦！オホーツクの大地で、獅子吼する！

誘致から開校まで、そして今後の支援

■ 誘致から開校までの支援 576,233,798円 (433,733,798円)

| 年度 | 事業名 | 主な内容 | 決算額 | 年度合計 |
|-----|--------------|---|---------------------------------------|-------------|
| H25 | 設立推進事業 | 道有財産(土地建物)取得 国有財産(土地)取得 その他(訓練施設解体ほか) | 129,211,000 8,210,000 5,656,366 | 166,443,557 |
| | 誘致事業 | その他 | 694,191 | |
| | 能力開発センター整備 | 国有財産(土地建物)取得 改修工事設計 | 19,417,000 3,255,000 | |
| H26 | 設立推進事業 | その他 | 900,329 | 133,520,259 |
| | 能力開発センター整備 | 改修工事費、移転補償費 | 132,619,930 | |
| H27 | 設立推進事業 | その他 | 531,982 | 531,982 |
| H28 | 設立推進事業 | その他 | 738,000 | 275,738,000 |
| | 補正予算(屋内直線走路) | *1 補助金<地方創生拠点整備交付金> | 265,000,000 | |
| | 施設整備事業補助金 | *2 補助金<ふるさと寄附> | 10,000,000 | |

37



partnership

挑戦！オホーツクの大地で、獅子吼する！

誘致から開校まで、そして今後の支援

■ 今後の支援

※H29年度予算までの総計 644,233,798円

| 年度 | 事業名 | 主な内容 | 予算額 | 年度合計 |
|-----|-----------|-------------------|------------|------------|
| H29 | 施設整備事業補助 | *2 補助金<ふるさと寄附> | 10,000,000 | 68,000,000 |
| | 入学支援事業補助金 | *3 補助金<ふるさと寄附> | 6,000,000 | |
| | 運営費補助 | *4 補助金<ふるさと寄附> | 42,000,000 | |
| | 開校記念事業 | 集団行動演技会ほか<ふるさと寄附> | 10,000,000 | |

38

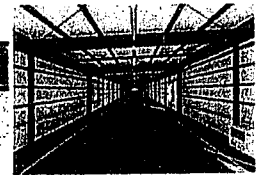


partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！

■地方創生拠点整備交付金※1

| | 金額(単位:千円) | | |
|-------------|-----------|---------|--------------------------------------|
| | 全体経費 | 交付金 | |
| 150m直線走路の整備 | 65,000 | 0 | 日体大が整備 |
| 上記走路の室内化 | 265,000 | 265,000 | 網走市が整備(交付金の1/2負担) ※市債:交付金×1/2×75% |
| 合計 | 330,000 | 265,000 | 【別添資料参照】 |

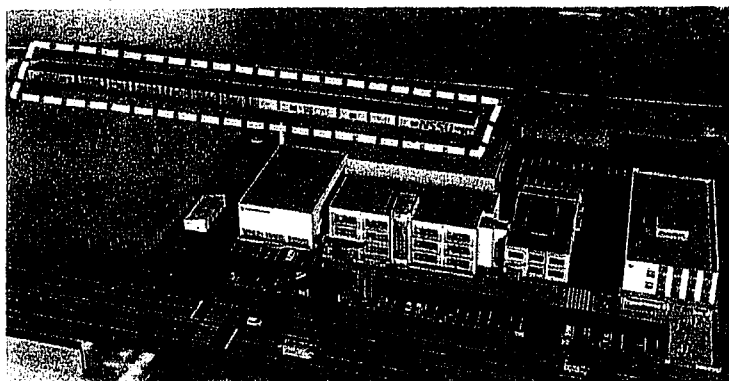


- 日本体育大学附属高等支援学校が150mの直線走路を整備する。
 - ・多様目、多世代、多志向という形態を特徴とした地域と密着したインクルーシブ教育の一環
 - ・学校施設、設備、指導者などのリソースを活用した地域活動を展望
- 網走市が上記直線走路を室内化し、国内最長の室内直線走路として整備する。
 - ・全天候化することにより、通年可能な練習環境を整備
 - ・障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことを目指す「網走市教育大綱」の具現化
- 「する」「観る」障がい者スポーツの推進を軸に、冬期間の合宿誘致を実現する。
- 「支える」スポーツの多様な関わり方にアプローチする人材育成などの研究活動の基盤整備



partnership

挑戦！ オホーツクの大地で、獅子吼する！





挑戦！オホーツクの大地で、獅子吼する！

■施設整備事業補助金※2

●H28年度～ ふるさと寄附を活用

- ・施設整備、教育活動、市民交流活動に関する経費
- ・H28：マイクロバス、農作業用の軽トラック、除雪機など
- ・H29：ワゴン車両、農作業用の耕耘機、部活動用の備品など

■入学支援事業補助金※3

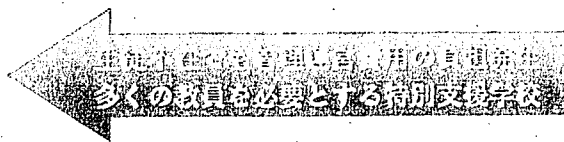
●H29年度～ ふるさと寄附を活用（10ヶ年継続事業）

- ・入学決定時に納付する費用の一部を保護者等に給付
- ・入学金相当額（15万円）

■運営費補助金※4

●H29年度～H30年度 ふるさと寄附を活用

- ・私立高等学校等経常費助成費補助金（国・北海道）が適用されない2年間の経営健全化への支援
- ・H29年度：22,000千円（生徒40名×500千円、教職員20名×100千円）
- ・H30年度：43,000千円（生徒80名×500千円、教職員30名×100千円）





『障がい者スポーツ』を核とする地方創生



学校法人

日本体育大学

「体育・スポーツ振興に関する協定」締結 (H27.3.21)

- KPI① パラリンピックアスリート養成 H28 0人 ⇒ H31 18人 (H38 50人)
- KPI② 冬季合宿による経済波及効果額 H28 0万円/年 ⇒ H31 1億5,586万円/年

みずから学び明日をひらくひとの育成

網走市人口ビジョン&総合戦略

地域特性を生かした交流人口の拡大

**合宿施設の
バリアフリー化**

H28 夏季合宿
経済波及効果額
5億8,700万円

- ・空港に隣接し、移動ストレスが少ない
- ・夏は冷涼で、疲労回復に適している
- ・多様で、栄養豊富な地元食材が提供できる
- ・多様な種目に対応する練習環境が充実している

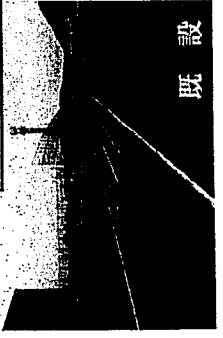
**合宿誘致の
ノウハウ**

- JOC認定競技別強化センター指定
- 東京オリパラ ホストタウン一斉登録
- 2019 ラグビーW杯ベースキャンピング地 (申請)
- 2020 東京オリパラ 陸上・ラグビーキャンピング地 (申請)

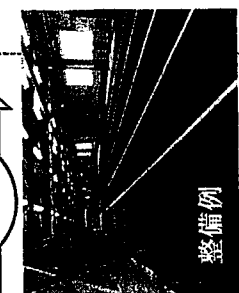
- 冬季の合宿誘致の機会損失を解消
- 練習環境の通年化による競技力向上

(仮称)
協力会

- ・施設活用の企画
- ・ソフト事業実施



既設



整備例

ソーシャル・イノベーション

より良い社会の実現のために、
新しい仕組みを生み出し
地方への新たな人の流れを創造する。
そのアイディアと実践に挑戦する。

スポーツ教育を基軸とした特別支援学校

日本初 日本体育大学附属高等支援学校

平成29年4月網走市に開校

知的障がい

日本財団 パラアスリート奨学金制度

- 世界レベルで活躍するアスリート育成。障がい者スポーツの指導者育成。
- 奨学金 一人当り50万円/年 (遠征費、補助用具など)
- 対象者 日本体育大学 (大学、大学院、設置校、付属校) の学生・生徒

身体障がい

日本体育大学・大学院・設置校
日体大総合研究所

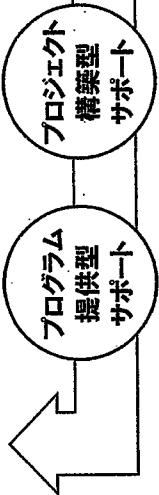
(給付型) 10億円

国内最長 150m室内直線路整備

既設の屋外直線路 (4レーン) の室内化・通年化

- パラリンピック強化指定選手の養成
- 総合型地域スポーツクラブの拠点機能
- 特別支援学校教諭免許取得実習校

- ・ トレーニング理論の実証
- ・ トレーニングの効果測定



- 障がい者アスリートの各種データ集積・分析
- 多種目・多志向が特徴のインクルーシブ教育の推進



国内外トップアスリートの合宿地としてのブランド化
障がい者の理解、就労支援体制の構築
障がい者 小中高生の競技力向上
指導者養成・発展、トレーニング開発
データ分析
インクルーシブ教育の推進
障がい者スポーツ指導者の養成によるアスリート支援

日体大アスリートサポートシステム

日体大総合スポーツ科学研究所

- 医・科学サポート
- パフォーマンス分析サポート
- トレーニングサポート
- メディカルサポート
- 心理サポート
- 栄養サポート
- 女性アスリートサポート
- 財政サポート
- 研究サポート
- 教育サポート
- コーチングサポート

政務活動記録

会派 (緑政会)

| | |
|--------------|---|
| 活動年月日 | 平成29年7月4日 ~ 平成29年7月5日 |
| 場所 | 衆議院本議員会館自衛隊体育学校・防衛省 |
| 相手方 (対象者) | 自衛隊体育学校 [redacted] 防衛省 鈴木人事教育局長 高橋整備計画局長 |
| 活動議員氏名 | 日笠一成 |
| 目的・内容 結果等 | 「ラグビーワールドカップキャンプ誘致事業」並びに「自衛隊体育学校誘致事業」についての調査、研修を行った。 防衛省「東京オリンピックが終了すれば、防衛省内部での表立での協議の場は持たないが、現在行っている各競技の合宿を継続するなど美作市との関係は保つて行く旨の発言があった。 要望書の提出先。防衛省整備計画局長高橋憲一様。防衛省人事教育局長鈴木良之様、(公財)日本ラグビーフットボール協会 [redacted] に直接提出した。 |

| 上記活動に要した経費 | | |
|------------|-----------|----------|
| 支出費目 | 内容 | 金額 (円) |
| 交通費 | JR代 | 32,560 |
| 宿泊費 | 1泊朝食 シングル | 12,800 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| タクシー代 | | 5 |
| 宿泊費 | | |
| 合計 | | 45,360 円 |

- 添付書類 ※様式第10号 (領収書貼付)
- ※様式第13号 (他会派と合同で活動し、按分した経費がある場合)
- ※様式第14号 (使途項目別集計表)
- ※資料等

(様式第10号)

領収書用貼付用紙

(記載事項が重ならないよう貼付)

会派 (緑政会)

領 収 証

No. _____

29年 7月 20日

緑政会 様

現金
・小切手

| | |
|----|----------|
| 金額 | ¥45,360- |
|----|----------|

但し 要請、陳情活動における交通費、宿泊費
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳 _____

税 抜 金 額 _____

消 費 税 額 等 (%) _____

株式会社 のと香

〒709-4203 岡山県美作市小野2382-5
TEL.0868-76-7430
FAX.0868-76-7431

扱 者


美作市議会 6 会派視察研修報告書

報告者 緑政会 日笠一成

期 日：平成 29 年 7 月 4 日（火）～5 日（水）

視察場所：陸上自衛隊体育学校 ラグビーワールドカップ組織委員会
衆議院第一議員会館 防衛省

参加会派：英風会（青山 慶） 爽風会（中山忠明） 功和会（安藤 功）
緑政会（日笠一成） 松樹千年翠の会（内海健次） 清新会（鈴木悦子）

研修目的：美作市が取り組んでいる「ラグビーワールドカップキャンプ誘致事業」並びに「自衛隊体育学校誘致事業」について調査研究するため

【ラグビーワールドカップキャンプ誘致事業関係】

7月5日

・ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会並びに秩父宮ラグビー場視察

◎組織委員会の [] からキャンプ候補地選定についての状況等について説明を受けるとともに、秩父宮ラグビー場を案内していただき公認キャンプ地ガイドラインに沿ったキャンプ施設としての必要事項等について意見交換を行った。組織委員会の見解としては、美作市の施設は十分キャンプ地としての機能は有しているとのことであったが、選定されるか否かは大会出場国の実地視察後に決定され、試合会場との位置関係が大きく影響するとのことであった。

なお、公認チームキャンプ地選定プロセスへの応募自治体は 90 自治体 76 件となっている。 10：50～11：50

・衆議院議員 [] 秘書対応 13：20～13：40
・衆議院議員 [] 13：45～13：50
・衆議院議員 [] 秘書対応 13：55～14：00

◎美作市が行っているラグビーワールドカップキャンプ誘致事業の取り組みについて説明し、お力添えをお願いした。

【自衛隊体育学校誘致事業関係】

7月4日

・陸上自衛隊体育学校（東京都練馬区大泉学園町 駐屯地内）視察

体育学校概要…設立 昭和36年（陸上・海上・航空自衛隊共同機関）

目的 体育指導者並びに選手の育成

職員数 122名

選手数 第1教育課300名 第2教育課215名（H26）

◎自衛隊体育学校広報班の [] の案内で学校内施設の視察を行うとともに、施設の現状や課題について意見交換を行った。なお、施設視察中に8月21日からの陸上班競歩競技の美作合宿が決定した旨の情報が入り、たまたま、トレーニング中の [] と面談でき「是非とも美作市を訪れたい。楽しみにしている。」との話をいただき、当方としても市を挙げて歓迎したい旨を伝えた。 14:00~16:00

7月5日

・防衛省 鈴木人事教育局長面談

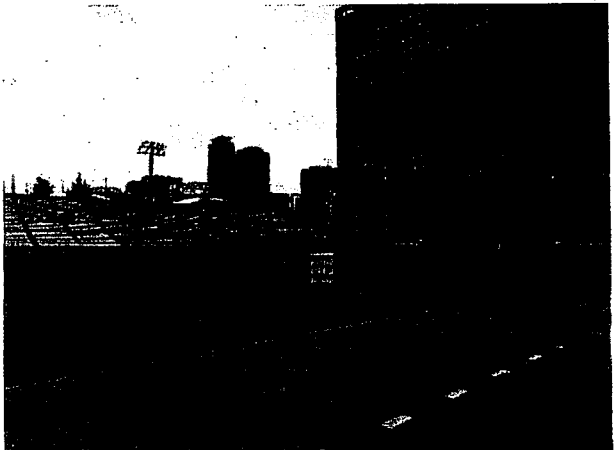
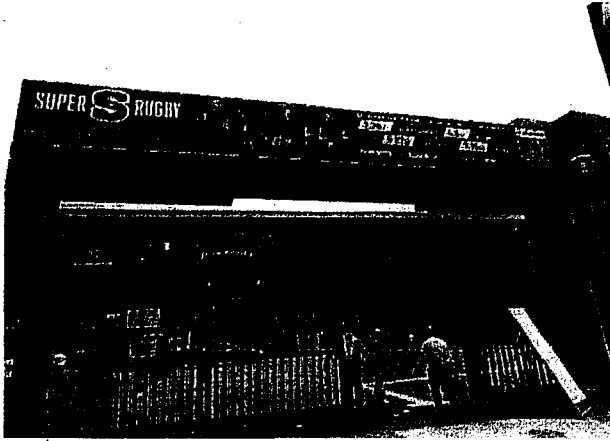
14:30~14:50

・防衛省 高橋整備計画局長面談

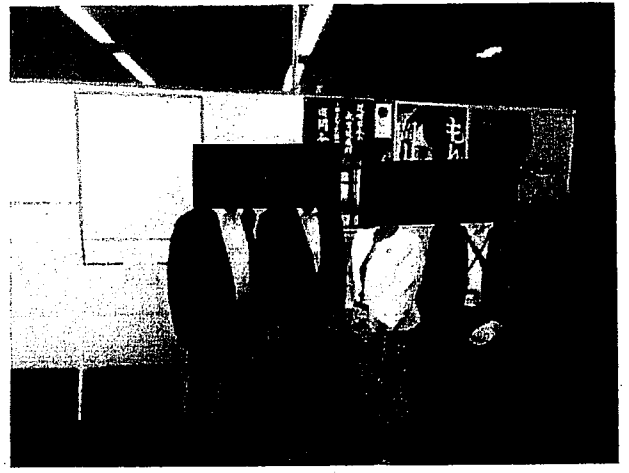
14:50~15:10

◎防衛省人事教育局人材育成課の有田総括班長の案内で鈴木人事教育局長並びに高橋整備計画局長と面談し、自衛隊体育学校の施設移転について、意見交換を行った。「東京オリンピックが終わるまで防衛省内部での表立っての協議の場は持てないが、現在行っている各競技の合宿を継続し、美作市との関係は保っていきたい。」旨の発言があった。体育学校誘致については非常に大きな案件であるが、可能性がある限り、地道な取り組みを継続していくことが必要である。

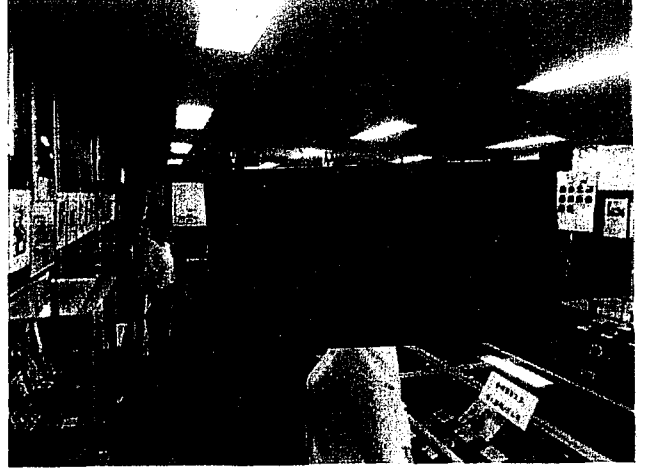
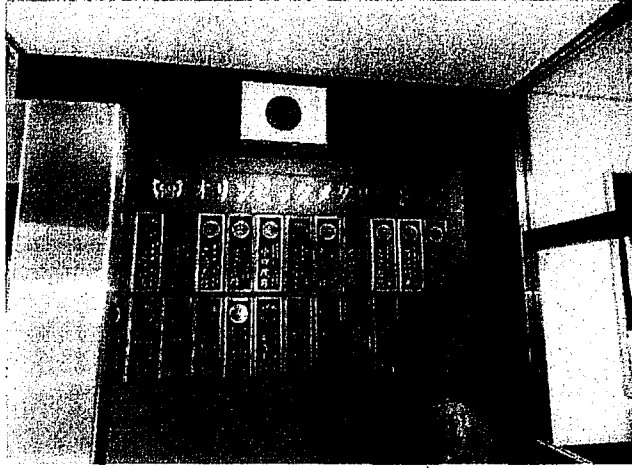
組織委員会



議員会館にて



体育学校にて



防衛省にて

